

10 来場者アンケート集計結果

平成30年12月1日(土)
厚木市立あつぎ市民交流プラザ
(アミューあつぎ6階)

【アンケート集計結果】

◎回収枚数 51枚

【回答者情報】

◎居住地 県内 50人、県外 1人、回答なし 0人

(内訳)

県内：横浜市(11)、川崎市(3)、相模原市(2)、横須賀市(1)、平塚市(2)、小田原市(2)、
逗子市(1)、秦野市(4)、厚木市(8)、伊勢原市(5)、海老名市(2)、座間市(1)、
南足柄市(1)、寒川町(1)、中井町(1)、開成町(1)、湯河原町(2)

県外：町田市(1)

回答なし：(2)

◎性別 男性 39人、女性 11人、回答なし 1人

◎年齢

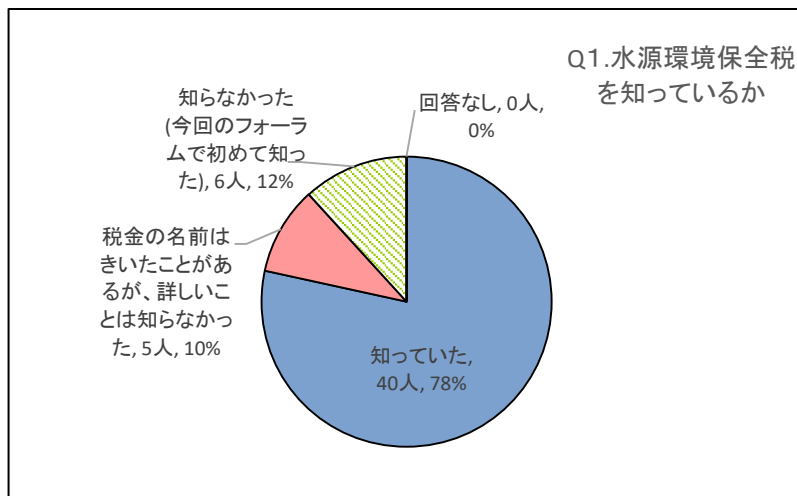
～10代(0)、20代(5)、30代(6)、40代(6)、50代(6)、60代(10)、70代(16)、80代～(2)、回答なし(0)

◎参加時間帯

1.終日参加 24人、2.午前の部のみ参加 21人、3.午後の部のみ参加 1人、4.回答なし 5人

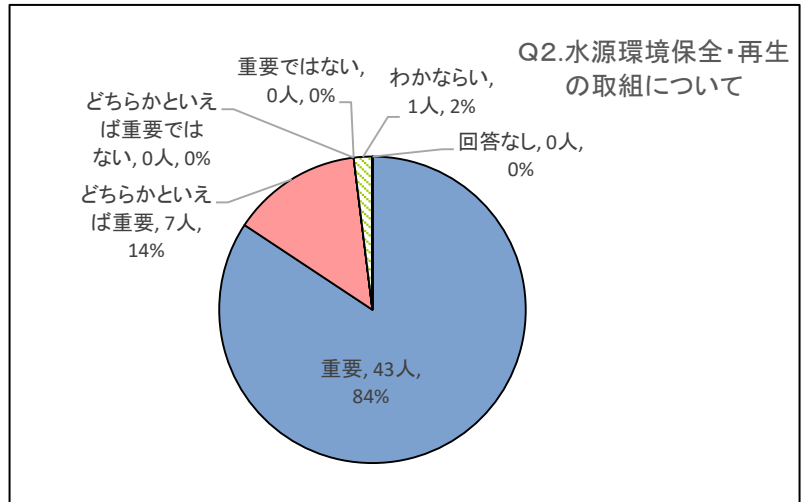
Q1 神奈川県では、平成19年度から個人県民税の超過課税(水源環境保全税:納税者一人当たり年額約890円)を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについて、ご存知でしたか。

1	知っていた	40
2	税金の名前はきいたことがあるが、詳しいことは知らなかった	5
3	知らなかった(今回のフォーラムで初めて知った)	6
4	回答なし	0



Q2 水源環境保全税を活用した水源環境保全・再生の取組みについて、重要だと思いますか。

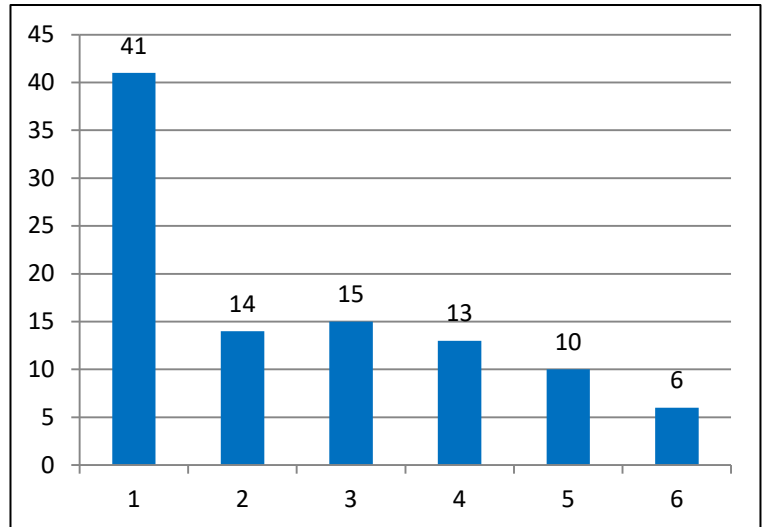
1	重要	43
2	どちらかといえば重要	7
3	どちらかといえば重要ではない	0
4	重要ではない	0
5	わからない	1
6	回答なし	0



Q3 これまでの水源環境保全・再生の取組で、効果があったと思うものは何ですか。また、今後力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。

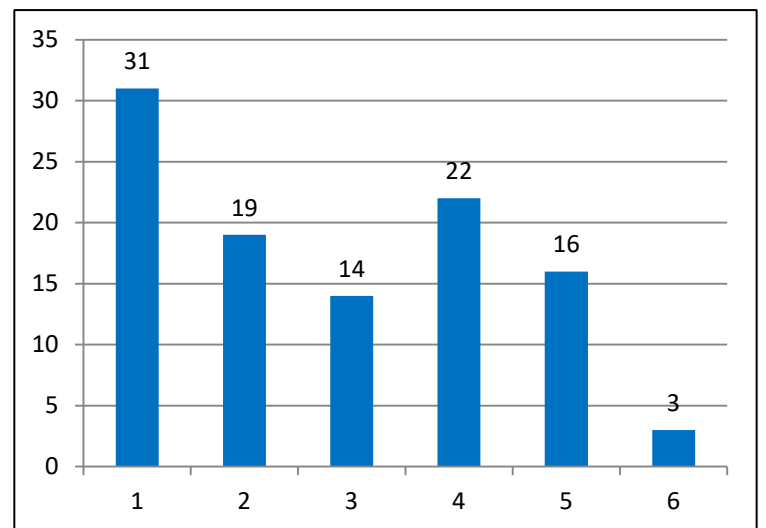
- これまで効果があったと思うものに○をお付けください。(複数回答可)

1	森林の保全・再生 (水源林整備、土壌保全等の基盤整備、生物多様性保全などの取組み)	41
2	河川の保全・再生 (生態系に配慮した水辺環境の整備)	14
3	地下水の保全・再生 (地下水のかん養・水質保全などの取組み)	15
4	水源環境への負荷軽減 (家庭や事業所等からの排水によるダム湖や河川の水質汚濁の軽減などの取組み)	13
5	相模川水系上流域対策の推進 (相模川水系上流域(山梨県)における森林整備や生活排水の水質浄化などの取組み)	10
6	わからない	6



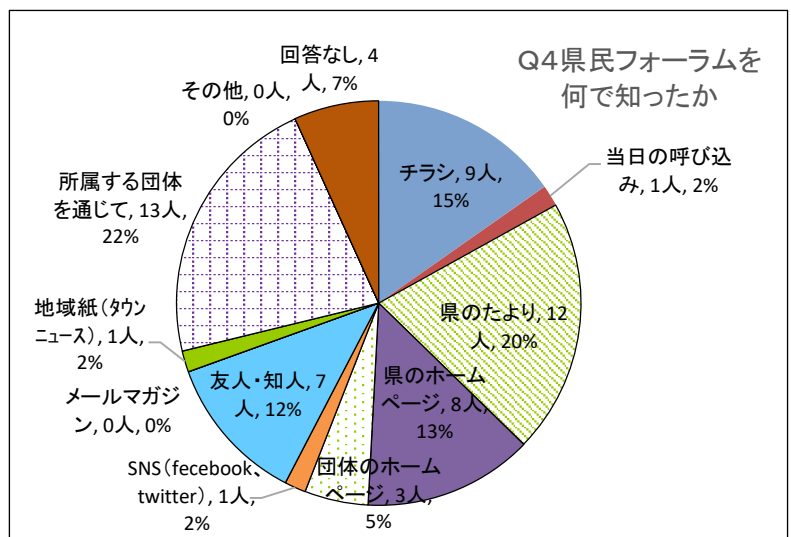
- 今後力を入れて取り組む必要があると思うものに○をお付けください。(複数回答可)

1	森林の保全・再生 (水源林整備、土壌保全等の基盤整備、生物多様性保全などの取組み)	31
2	河川の保全・再生 (生態系に配慮した水辺環境の整備)	19
3	地下水の保全・再生 (地下水のかん養・水質保全などの取組み)	14
4	水源環境への負荷軽減 (家庭や事業所等からの排水によるダム湖や河川の水質汚濁の軽減などの取組み)	22
5	相模川水系上流域対策の推進 (相模川水系上流域(山梨県)における森林整備や生活排水の水質浄化などの取組み)	16
6	わからない	3



Q4 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。(複数回答有)

1	チラシ	9
2	当日の呼び込み	1
3	県のたより	12
4	県のホームページ	8
5	団体のホームページ	3
6	SNS (facebook、twitter)	1
7	友人・知人	7
8	メールマガジン	0
9	地域紙(タウンニュース)	1
10	所属する団体を通じて	13
11	その他	0
12	回答なし	4



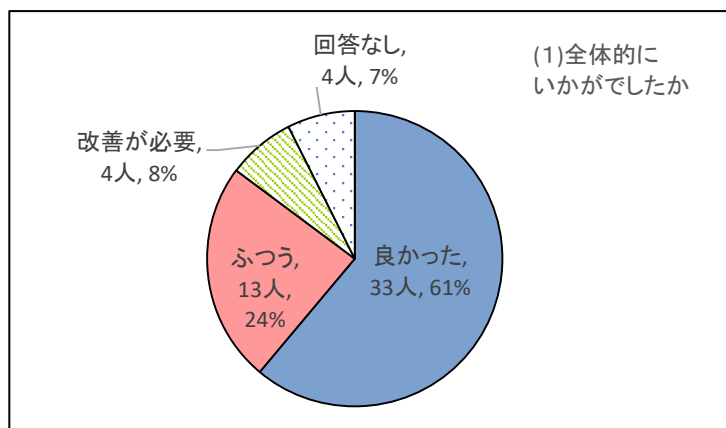
【記入事項】

県庁 2人、相模原市役所 1人、厚木市役所 1人、かながわ森林インストラクターの会 2人、四十八瀬川自然村 2人、桂川・相模川流域協議会 1人、なかい里山研究会 1人、日本の竹ファンクラブ 1人、ファームパーク湘南 1人

Q5 今回の県民フォーラムはいかがでしたか。また、今回の県民フォーラムで良かった内容がありましたか。

(1) 全体的にいかがでしたか。

1	良かった	33
2	ふつう	13
3	改善が必要	4
4	回答なし	4



【良かった】理由

- ◎ 色々な情報が得られた。又、評価も聞けて大変良かった
- ◎ 関心が深まった
- ◎ 分科会が出来た事
- ◎ 県全体の活動を知ることが出来ました
- ◎ 事業の取組に対する今までの流れが良く分かった

【ふつう】理由

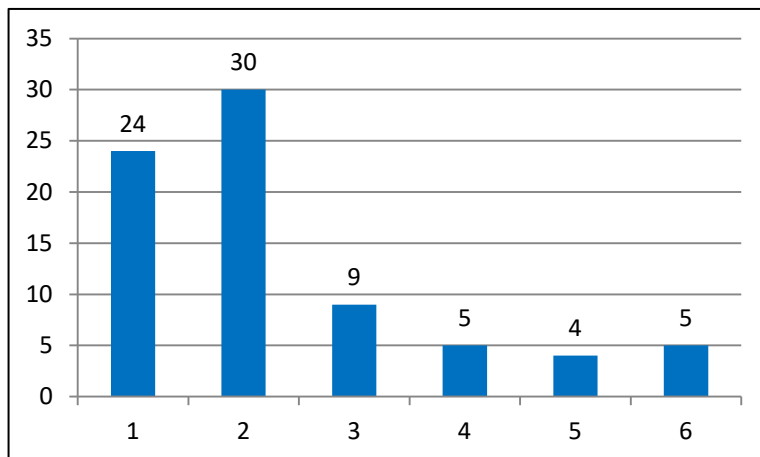
- ◎ 今後の課題が良く分かった
- ◎ 時間をもう少し取って、内容を掘り下げて欲しかった
- ◎ 有識者の発表時間と、討議の時間が短い(1時間で3つのテーマでは少し厳しい印象を持った)

【改善が必要】理由

- ◎ 討議の時間が短い
- ◎ 分科会の議論が消火不良。時間を延ばす、進行役を有識者に変える、分科会毎に論点を絞るなどの改善が必要である
- ◎ プログラムに書いてある「県民との意見交換」が具体的に(特に分科会の部分)何をするのか分かりにくく、怖気づいてしまうようなイメージがありました
- ◎ 討議時間が短すぎる。討議のベースとなる情報が共有されていないので議論にならない等

(2)良かった内容(複数回答可)

1	県の取組紹介	24
2	有識者の評価発表	30
3	討議	9
4	意見発表	5
5	子ども会場	4
6	回答なし	5



【良かった理由】

- ◎ 発表者が別々の観点で見ており、参考になった
- ◎ 土屋教授の話は面白かった。もっと聞きたかった
- ◎ 2番(有識者の評価発表)、特に神奈川県の実業・森林政策に対する評価
- ◎ 子ども会場に参加できず残念でした
- ◎ 良く理解が出来た
- ◎ 有識者の発表は分かりやすかったです

Q6 水源環境保全・再生の取組みに関してご意見・ご感想等をお聞かせください。

ご意見・ご感想の内容を下記番号より選び、記載してください。(複数選択可)

- ①森林関係、②水関係、③県民参加、④県民フォーラムの内容・運営、⑤配布資料、⑥その他

【意見番号】

	◆森林整備に関して、ボランティアで参加していますが、交通費も出ない状態です。手弁当はOKとしても、せめて現地までの交通費は出ないものか…このままでは先細りになります
	◆森林の公的管理終了後の対策の効果維持の方策が必要で、その為には、行ってきた対策の効果検証が欠かせないと思う
	◆国が実施する森林環境税が始まるが、水源環境保全税との関係について⇒自治体配布になっているが、県全体への影響はどの程度か
	◆国の森林環境税導入に伴う、森林関係諸事業との整備等に係る費用の分担を効果的に行って頂きたい
	◆荒廃した森林を健全な状態にするには、50年、100年と長い期間が掛かると聞きました。水源環境保全税は20年間とのお話ですが、税終了後も森林整備は必要だと思います。お金が無くて、森林が荒れていく事が無い様、水源環境保全税の期間を延長し、神奈川の水源を守って行く事が大切だと感じました
	◆支援は経済合理的でなければならない。林業が成立するような施策が必要
①	◆参加した討議グループの中で、20年を限度としている事に対して、永続的な取組を求める意見と、経済的(林業としての経済的要素も含めた)循環を求める意見が印象に残っています。意識が高い人の集まりだと思いますが、そうでない人の意見も聞く機会があればと思いました
	◆本計画時点で丹沢の山は、どのような森林にするかという理想像が議論されたのでしょうか。成り行き任せという一面があるようです。自然を相手に想定外の環境変動が考えられる昨今という条件下で考え抜く事は難問である。100年、1,000年先の丹沢の理想像を作ってから計画を作るべきであろう
	◆人工林の手入れはエンドレス。更なる保全・再生活動の必要性を改めて感じました
	◆人材育成(待遇改善)
	◆神奈川県として林業に携わる方の将来像をどうするか。現状は水源環境税に頼っている所が大きい(将来共に継続的な支援(森林の維持整備)をする方法等)
	◆水源環境の保全に今、取り組んでいる事を我々の団体の中で、いかに継続されるか、後に続く者を育てていくかが重要であるかを学びました。団体の中で議論をしたいと思います。ありがとうございました

【意見番号】

①	◆県と横浜市、川崎市との調和・調整等が必要(ムダな金/作業)事業のダフリングのムダ、目的の相違はないか？
②	◆もっと県民に重要性をPRする。一般的に水の有難さを認識しないで生活している人が多いと考える。水資源に富まれている神奈川であり、その環境・保身に更なる対策を積極的に進めて欲しい
	◆河川の中流域への整備
②	◆河川に関係する事業について、広範囲な取組を検討して欲しい。相模川水系河川整備計画が策定された。今後の取組を整備計画と一体化した内容になると良い
	◆水の事に興味がない人でも身近に感じられ、参加できるようなイベントになると県民の意識が向くと思いました
	◆金目川水系の里川づくりへの評価はいかん！
	◆各発表者の内容は非常に興味深いもので、もっと深い長い話として聞いていたかった。それぞれの時間が短かった為か中身が上滑りしているようで、内容の理解がまいちだった。一生懸命聞いていたが、話がどんどん通り過ぎて行って、理解が深まらなかった。もう少し時間に余裕を持って「参加者が良かった」と思えるように時間割を考えてください
④	◆子ども会場について、森林に関心を持つ人達の層を将来的に広げていける可能性がある。発表者の時間管理をしっかりコントロールしていた点がとても良かった
	◆室内の空調が弱く寒かった
	◆時間が足りなかったと思います。お疲れ様でした
	◆開催についての周知をもう少し広げ、一般市民に知らせる対策の必要性 子ども会場の催事内容が、良かったと感じた。例えば室内ではなく、オープンな広場で気軽に参加出来るような方策について検討する方が良いと思います
⑤	◆配布資料も良くて、来ていて大変参考になる

11 意見シートによるご意見

シート① / 意見区分： その他

水源施策は民主主義を体現する「すごい取組」だと思います。県民の合意に基づいて超過課税し、その税が目的に沿って使われているのかについて、県民がチェックする機能があり、県民が意見する機会もある。これが上手く機能すれば、素晴らしいことだと思います。ただ、本当に機能しているのかは、もっと改善の余地があると思います。以前、県民会議の事業モニターに同行させていただきましたが、その際に感じたのは、「水源税の経緯や目的、県民と行政とのコンセンサスの内容といったことが、県民会議の方々の間でも、必ずしも共有されていないのではないか？」ということです。県民会議の方々は、「行政（県）が、県民と合意した以外の目的で税を使っていないか、無駄遣いしていないか」をチェックする使命を負われているかと思います。また、時代が変わっていく中で県民のニーズが変化し、水源税の目的、用途も変化するのだとしたら、それについての議論をする役割も担っておられると思います。しかし、県民会議の方々が、こうした役割を担う上で必要な基礎的な事項（上記波線部分等）を知るための機会がきちんと設けられているのか疑問です。議論のベースとなる知識を共有し、一般財源で支援する内容と区別をして「水源税の用途として適切か、効果はあるのか」について検討できることが、県民の代表たる県民会議の方々には求められると思います。県は県民会議の方々が判断材料を得られる機会（外部有識者による講義等）を設定すべきだと思います（あくまで外部の方の客観的な講義、県がレクチャーするのはNGだと思う）。

シート② / 意見区分： その他

分科会のやり方について議論を始めるにあたって、基本的な情報が少ないため、意見を出すのが難しかった。フォーラム資料の仮版でもいいので、事前に配布（HPや電子データでも）していただけると、議論が活発になると思う。もしくは、午前中のプレゼンが分科会の議論に直結する内容にまとめて欲しい（今回のプレゼンは、ひとつひとつは興味深い、全体としてまとまっているわけではなかった）。全般に議論方法を考えるべきでは？最後の総合討論に関しては、まとめた先生がかわいそうだし、聴衆としても意見が出しにくい。例えば、グループリーダーによるパネルディスカッションにするとか、工夫をお願いします。

シート③ / 意見区分： その他

有識者による評価発表について、各先生の説明は、わかりやすくまとめられていました。本日の有識者のプレゼンを広く広報に公開できないでしょうか（PDF程度）。

これまでの取組について（悪かった点）は

- ・ 保全課 — 全般概要のみの発表でよかったのでは。
- ・ 科学センター — 説明が早く、しばってもらいたかった。

シート④ / 意見区分： その他

県の水源環境保全税に、近々、国の森林環境税、そして横浜市のみどり税、さらには消費税増税の話もあり、県民、市民にとっては益々負担大となってしまう。この際、県の水源環境保全税スタート時に戻って、県民に対して、税の意味をもう一度分かり易く説明をして下さい。まだまだ知らない人が多い…このままではいけないと思う。よろしくお願い致します。

シート⑤ / 意見区分： その他

(市民参加の方法について)

討議の時間が短く、マトモな議論にならなかった。土屋先生の発表で課題として挙げられていたように、市民参加（ガバナンス）が、形だけに終わってしまっていると感じた。210回フォーラム等を開いているとのことだが、同じようなやり方では意味がないのではないかと思う。「また来よう」という気にならない。議論の進行役を務める県民会議の委員の方も、事業の内容を把握していない状況が見られ、議論がスムーズに進まなかった。グループワークの進行役については、土屋先生のように、全体的な論点整理ができている方をお願いするのが良いと思う。

(税の使途について)

本来の目的（水源）に各事業が本当にマッチしているのか、効果的な使途は何なのか、きちんとチェックしてほしい。行政のやりたいように税金が使われていないか疑問が残る。

シート⑥ / 意見区分： 水関係

水質の保全については、畜産施設からの排水、排泄が大きいと思われるが、具体的な対策はとられているのか？もし、とられていなければ、検討してもらいたい。

シート⑦ / 意見区分： 水関係

高齢化、過疎化の人口動態のなかで、水源地域の労働作業者の確保は難しい課題となって、さらに進行するはず。そのための施策を永続的に立案すべき。

河川について、水道用水源となっていない河川もあるが、地域住民にとって、かけがえのないもの。保全対策は考えていく必要がある。「里川づくり」はいかなることか？

12 県民参加型ワークショップ（第42回県民フォーラム）開催結果

（第5回県民フォーラムチーム・コミュニケーションチーム（合同）検討会議）

平成30年12月1日（土）アミューあつぎで開催した県民参加型ワークショップ（第42回県民フォーラム）の開催結果について、資料1-1～1-3により事務局から結果概要の共有した後、振り返りを行った。主な意見は以下のとおり。

分類	委員からの意見
感想	有識者の発表は、三者三様で良かった。県民会議についても、発表の中で触れてもらえてありがたかった。
	子どもはそれなりに参加していたが、子ども会場と本会場との関係が希薄に感じた。
	分科会について、時間が足りず、消化不良に感じた。
	最後のリーダーからの報告で、分科会で発言があった全ての意見が報告されたわけではなかったため、発言が取り上げてもらえなかった人は残念だったかもしれない。
	4グループに分かれたので、1グループの人数が少なかった。話が出てこず、2グループでも良かったのではと思った。
	↑（別意見）人数が多いと、発言する機会がなくなってしまう。
	司会とグループリーダーの役割分担が曖昧だった。我々はタイムキーパーで、グループリーダーに司会をやってもらった方が良かったかもしれない。（進行役が仕切りすぎではないかと考えてしまった。）
	数年前のワークショップの際は活発な意見交換があり、まとめるのが大変だったが、今回は行政関係者も多くAグループは発言があまりなかった。黙ってしまう人が多く、うまくキャッチボールができなかった。なかなか本当の意味での県民参加となっていない。
	フォーラム実施後に、参加者から色々な話（改善点）が出てくる。フォーラムで発言してくれると良いのだが、なかなかそこまでいかない。
今後のPR方法として、県立公園でチラシの配架を依頼してはどうか。	
改善意見	神奈川新聞に開催報告が掲載されたが、メディアに開催告知の紙面掲載を働きかけるとなお良かった。
	開かれた場でないといけないはずだが、毎回同じような顔ぶれになっている。会場と集客方法については、早い時期から日程を決めて、集客に結び付ける必要がある。
	市民事業の団体が参加しているのは、同じ顔触れにはなるが良かった。
	施策の話だけでなくもっとグローバルに、大きな視点で伝えた方が良い。

	<p>各分科会からの発表でイノシシの話題が出ていた。そういう意見が多いのかと思ったが、同一の団体に所属する人達が各グループに分かれて発言していた可能性がある。それが多くの県民の関心があるもの・県民全体の意見だと誤解しないように、分科会で出た意見を県民会議でどう扱うかは気をつけなければならない。</p>
	<p>場所は横浜が良いという意見もあった。</p>
	<p>次回開催時は、日程・場所を早めに決めて複合的にやっていく必要がある。</p>
	<p>初期の頃は水源税への関心度も高く熱気があったが、12年が経過した今、アプローチの仕方を変える必要がある。</p>
	<p>補助をもらっていない団体へもアプローチをかける必要がある。</p>

(以上)